

大きな軒下のある平屋

～モデルプランの特徴とメッセージ～

伝統的な建築様式である「通り庇」を思わせる深い軒下空間はリビング・ダイニングからつながります。天気の良い日は家族や気の合う友人とお昼ごはんやおしゃべりを楽しんだり、前に広がる家庭菜園で収穫した野菜を広げて一服のお茶を楽しんだり、楽しみがいっぱいです。4人家族から夫婦2人の生活はもちろん、親子や兄弟で暮らす間取りへの変更可能です。また、同プランと同じ特徴を持った2階建てでありながら平屋感覚で住める「1.5階建てプラン」もご用意しています。

提案プランの概要

構造・工法 木造軸組工法・工業化ベタ基礎
 延床面積・階数 76.28㎡(23.02坪)・1階
 標準工期 約4か月(基礎着工～完成)
 概算工事費 2,000万(税込)

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、構造計算費、屋外給排水工事費、電気引込工事費、浄化槽設置費、エアコン、照明工事費、カーテン(本体)、外構工事費(縁側(濡れ縁)や植栽も外構工事)、移動可能な家具や家電製品、食器棚、借入経費等の諸手続き費用、登記費用、現場状況経費(建築地による)

平面図



内観パース



外観パース



【いしかわ型復興住宅 5つ要件】提案内容

①コミュニティ

リビング・ダイニングを表の通りに向けて配置すれば、内と外の間大きな軒下空間を設けたことで地域とのつながりが一層深まります。深い軒は雨除けとして夏の強い日差しからも守ってくれますから、縁側(濡れ縁)やデッキを設ければ外での楽しい生活が広がります。キッチンの正面に設けたミニ出窓からは風や光、そして外の気配も感じられます。

②景観 (まちなみ)

軒と勾配がある切妻屋根に防災性の高い瓦を使うことで北陸の気候に適した屋根にしました。外壁は土壁風の仕上げをベースに玄関廻りに石川県産材の天然木の羽目板を使い既存の景観や風土に融和するようにしました。

③地域特性

雨や雪、湿度が多い石川県でも安心な高耐久設計だから実現する“長寿命な家”がニューハウスの特徴です。冬場に配慮した少し広めの玄関ポーチや大型ランドリーを取り入れた間取りも石川の生活には欠かせません。

④住宅の 基本性能

耐震等級3(許容応力度計算)と工業化ベタ基礎による高い耐震性能と省エネ義務基準(2025年)を大きく上回った断熱性能で安全・安心かつ快適で省エネな高性能住宅を提供いたします。バリアフリー設計はもちろん、停電時に非常灯になる保安灯や大きな地震で発生する通電火災に備えた感震ブレーカーなど災害にも配慮しました。

⑤コスト (費用)

廊下を最小とする設計をはじめ踏み型(ウォークイン型)収納をあえて採用しない収納設計などコンパクトな間取りでありながら居室の広さや収納量を重視しました。外の大きな軒下空間はリビング・ダイニングの一部としてもいかがでしょうか。これも広さを感じさせる工夫の一つです。

○ 施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表者所在地 石川県金沢市西泉1丁目66番地1

代表者 村上 哲也 担当者 岡山 靖史(金沢東支店)

電話番号 076-252-6100 E-mail :info@newhouse-newhouse.co.jp

主な外部仕上げ

屋根 平瓦(F型/防災瓦)

外壁 窯業系サイディング/一部木製羽目板

建具 高性能樹脂窓(ガス入りLow-E複層ガラス)

主な内部仕上げ

床 木質フローリング

壁 ビニルクロス

天井 ビニルクロス